

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和4年11月24日(2022.11.24)

【公開番号】特開2021-144145(P2021-144145A)

【公開日】令和3年9月24日(2021.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2021-045

【出願番号】特願2020-42696(P2020-42696)

【国際特許分類】

G 03 B 21/14(2006.01)

10

G 03 B 21/00(2006.01)

H 04 N 5/74(2006.01)

F 21 S 2/00(2016.01)

F 21 V 17/00(2006.01)

F 21 Y 115/30(2016.01)

【F I】

G 03 B 21/14 A

G 03 B 21/00 D

H 04 N 5/74 A

F 21 S 2/00 340

20

F 21 V 17/00 200

F 21 V 17/00 250

F 21 Y 115:30

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月15日(2022.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光を拡散させる拡散部と、

前記拡散部が固定される基板と、

曲面と、前記曲面とは反対側に位置する平坦面と、を有し、前記拡散部に対向して前記基板に固定される第1レンズと、

前記第1レンズを前記第2底面に押圧する第1押圧部材と、を備え、

前記基板は、

第1底面と、前記第1底面から起立する第1側面と、を有する第1凹部と、

前記第1側面と接続される第2底面と、前記第2底面から起立する第2側面と、を有する第2凹部と、を備え、

前記第1レンズは、前記第1押圧部材により前記平坦面が前記第2底面と当接するように、前記第2凹部に配置され、

前記拡散部は、前記第1底面に固定されていることを特徴とする拡散装置。

【請求項2】

請求項1に記載の拡散装置において、

前記基板は、前記第2側面と接続される第3底面と、前記第3底面から起立する第3側面と、を有する第3凹部を備え、

前記第1押圧部材は、前記第3底面に固定されていることを特徴とする拡散装置。

40

50

【請求項 3】

請求項 2 に記載の拡散装置において、
前記第 1 押圧部材は、線材により構成され、前記曲面における複数箇所に当接して、前記第 1 レンズを前記第 2 底面に押圧することを特徴とする拡散装置。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の拡散装置と、
前記基板が固定される筐体と、
前記第 1 レンズに対向して設けられる第 2 レンズと、
前記第 2 レンズを前記筐体に押圧する第 2 押圧部材と、を備え、
前記筐体は、前記第 2 レンズが取り付けられるレンズ取付部を有し、
前記第 2 押圧部材は、前記筐体に固定されて、前記第 2 レンズを前記レンズ取付部に押圧することを特徴とする光学装置。 10

【請求項 5】

光を出射する光源と、
前記光源から出射された光が入射する請求項 4 に記載の光学装置と、
前記光学装置から出射された光を変調する光変調装置と、
前記光変調装置によって変調された光を投射する投射光学装置と、を備えることを特徴とするプロジェクター。

【請求項 6】

光を出射する光源と、
前記光源から出射された光が入射する請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の拡散装置と、
前記拡散装置から出射された光を変調する光変調装置と、
前記光変調装置によって変調された光を投射する投射光学装置と、を備えることを特徴とするプロジェクター。 20